

飯舘村への支援の報告 4月3日

NPO法人 エコロジー・アーキスケープ

飯舘村の現状は、本ホームページに最新の報告はしてありますので、ご覧下さい。
30km圏外ですが、まだ、役場前では7マイクロシーベルト程度の放射線量がまだ出ている状況であり、厳しい状況にあります。今までの放射線積算量、そして、今後の積算放射線量を考えると、屋内避難や、部分的な避難行動が必要な状況になってきていると非常に心配しています。

現段階までの飯舘村支援活動に関して報告いたします。

1. 飯舘村後方支援チームを設置し、飯舘村のまでいな暮らし普及センターを介して、村長、村役場に的確な情報を発信し村の行動決断の情報として活用してもらっています。また、村の情報発信をお手伝いしてきました。
2. EASのメンバーが、飯舘村のまでいな家に行き滞在し、村役場での支援活動をしてきました。
3. 後方支援チームは、京都大学原子炉実験所の今中先生達に協力して、飯舘村全域での地上での放射線量の測定、土壌の放射性物質の調査を行っています。
4. 義援金活動では、
4月1日までの義援金は、デンマークからの義援金も含めて88人の募金により190万円集まっています。
5. まだ、多くの村民が村に滞在している状況で、子ども達や村民の体内被曝の危険性を少なくするために、義援金の一部を活用させて頂き、マスク（子供用5000枚、大人用10000枚）を飯舘村に送っています。

村での状況に関しては、継続的に報告をしていきます。

引き続き、皆様のご支援をお願いします。